

# PrintToPDF

@2000 by James W.Walker <<mailto:pdf@jwwalker.com>>

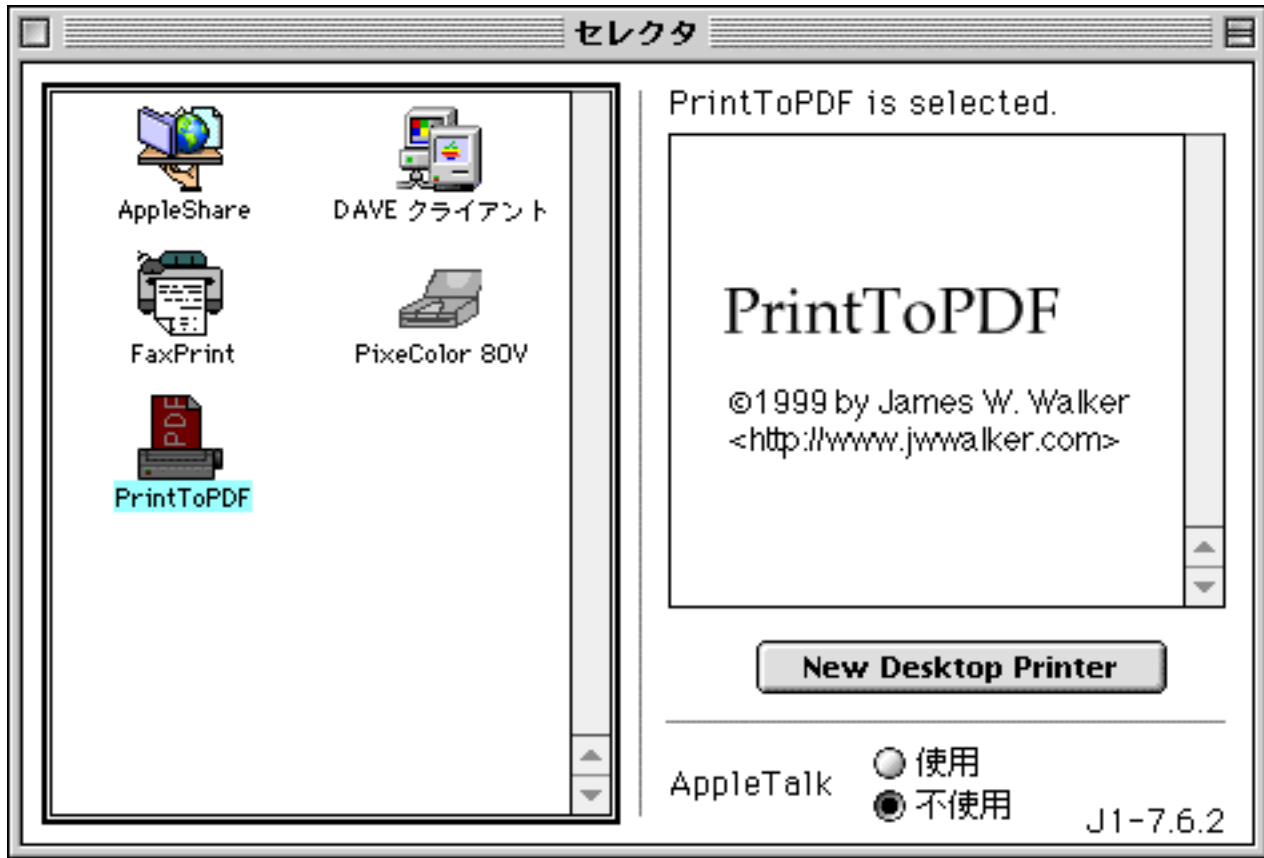
Translated by Kazuyuki Shimatani <<mailto:simatani@osaka.email.ne.jp>>

## 何をするもの？

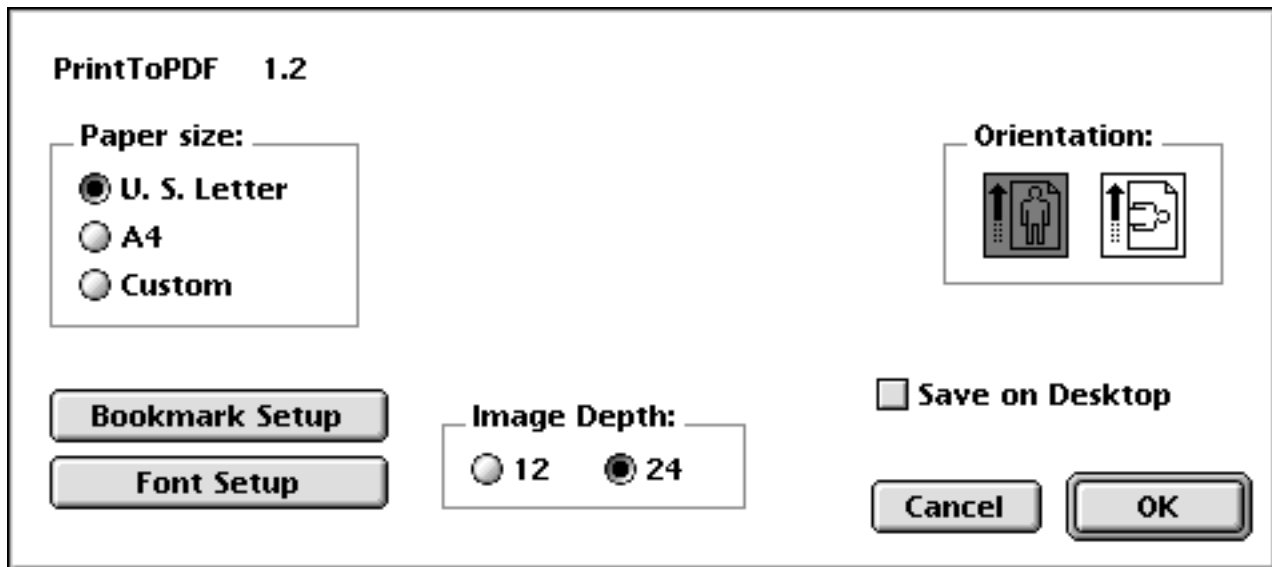
PrintToPDFは、Macintoshプリンタドライバのシェアウエアで、アプリケーションの中からPDF (Adobe Acrobat(TM))ファイルを作成することができます。セクションにPDFブックマークを作ったり、サブセクション・ヘッディングを組み込むこともできます。PrintToPDFはAcrobatのパッケージ版程には強力なものではありませんが、シンプルなPDFを本当に低価格（20ドル）で作成できるのです。

## 始めに

PrintToPDFのインストールは、PrintToPDFファイルをシステム・フォルダー内の機能拡張フォルダーに入れるだけです。（システム・フォルダーのアイコンにドロップすれば、機能拡張フォルダーに入れるかどうかファインダーが尋ねてくるはずです。）その後、アップルメニューからセクターを選び、PrintToPDFアイコンをクリックします。セクターを閉じましょう。（アップルトークの設定はPrintToPDFには無関係です。）

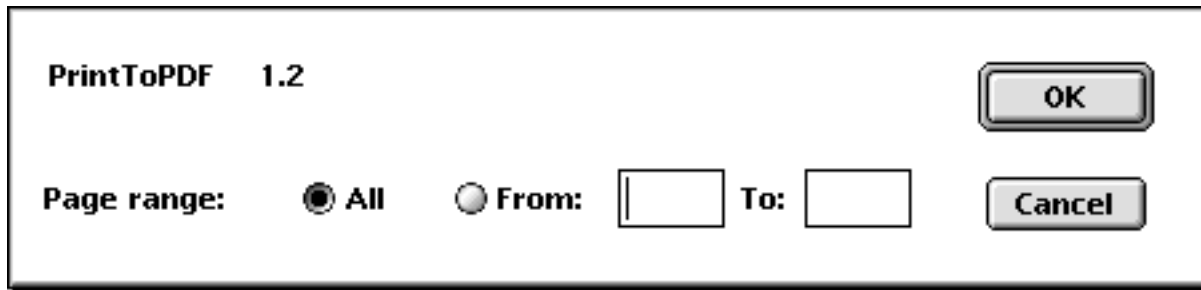


PrintToPDFを使うには、PDFファイルに変換したいドキュメントを開き、アプリケーションのファイル・メニューから「用紙設定...」を選択します。下のようなダイアログが現れますが、アプリケーションによっては、他のボタンがあるかもしれません。



特別なサイズの内紙を使いたいというのではないかぎり、U.SレターまたはA4を内紙に設定します。普通は図のように、縦方向を選びます。その他の設定に関しては、後で説明します。OKをクリックしましょう。

次に、ファイル・メニューから「印刷...」を選びます。次のような別のダイアログが現れます。ここでも、アプリケーションによって別の設定があるかもしれませんが。



ドキュメント全体を印刷したいのであれば、設定を変える必要はありません。ある部分だけを印刷したいのであれば、印刷開始・終了ページ番号を入力します。OKをクリックしましょう。

印刷処理中は、アプリケーションによっては、プログレス・ダイアログが表示されることもありますし、表示されないこともあります。処理が終了すると、標準の保存ダイアログが表示されますので、PDFファイルの名称と保存場所を指定できます。

用紙設定ダイアログでデスクトップに保存のチェックボックスをチェックしておく、保存ダイアログを表示せずに、PrintToPDFはPDFに適切な名称を付けてデスクトップに保存します。

## PrintTOPDFをデスクトップ・プリンタとして使用する

MacOS 8.5以降を使用しているのであれば、PrintToPDFをインストールして選択すると、図のようにPrintToPDFのアイコンがデスクトップに現れます。



太い線で囲まれているのは、通常使うプリンタとして設定されていることを示しています。デスクトップ・プリンタのアイコンをクリックすると、ファインダーに印刷メニューが表示されます。このメニューには通常使うプリンタを設定するためのコマンドが用意されています。このコマンドを使えば、セレクトタを呼び出さずに、他のデスクトップ・プリンタとの切替えを行うことができます。デスクトップ・プリンタのアイコンをダブルクリックすると、印刷キューのウインドウが開きます。PrintToPDFに関しては、このウインドウはあまり意味を持ちません。PrintToPDFはバックグラウンド印刷が行わないためです。

セレクトタを開いてPrintToPDFを選択したときに、PrintTOPDFのデスクトップ・プリンタのアイコンが既にあった場合には、「新規デスクトップ・プリンタ」というボタンが表示されます。このボタンを使用すれば、第二のPrintToPDFデスクトップ・プリンタのアイコンを作ることができます。このアイコンを作るのは、標準のデスクトップ・プリンタがその設定を記録してい

るためです。複数のデスクトップ・プリンタを使用すれば、いろいろな設定を記録しておくことができます。

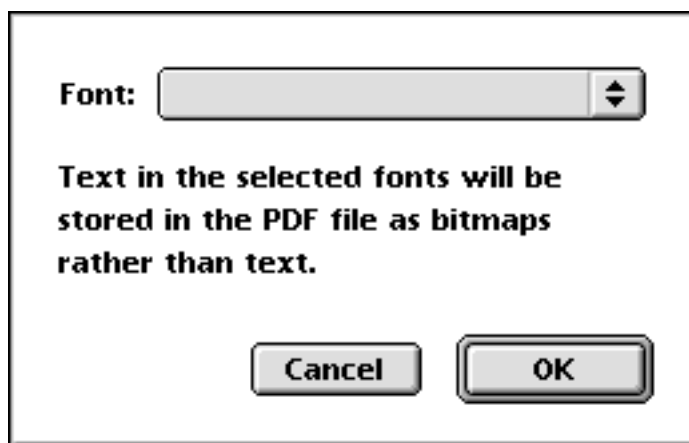
## フォントと代用

PrintToPDFが理解できるPostScriptフォントの名称とメトリクスには限りがあります。ほとんどのフォントは、プレイン、ボールド、イタリック、ボールド・イタリックを使用できます。下線付きフォントは、シミュレート可能です。ドキュメントで使用されているMacのフォントは、埋め込みフォントで代用されます。以下のリストにないフォントは、Timesフォントで置き換えられます。

- AvantGarde、Avant Gardeの代用フォント
- Bookman
- Courier, Courier、Courier NewまたはMonacoの代用フォント
- Helvetica, Geneva, HelveticaまたはArialの代用フォント
- Helvetica-Condensed、Helvetica Compressedの代用フォント
- Helvetica-Narrow、N HelVetica Narrowの代用フォント
- NewCenturySchIbk、New Century SchIbkの代用フォント
- Platino
- Symbol
- Times、New YorkまたはTimes, Times New Romanの代用フォント
- ZapfChancery-MediumItalic、Zapf Chanceryの代用フォント
- ZapfDingbats、Zapf Dingbatsの代用フォント
- HeiseiMin-W3、ほとんどの日本語フォントの代用となります。
- STSong-Light、中国語（簡体字）のテキストに使用されるフォントの代用になります。
- MSung-Light、中国語（繁体字）のテキストに使用されるフォントの代用になります。
- HYSMyeongJo-Medium、韓国語フォントの代用になります。

MacのTrueTypeフォントのほとんどのものにあつて、PostScriptに同等のものが存在しない文字：  
、 、 、 、 、 、 、 、 、 もあります。こういった文字を、SymbolまたはZapf  
Dingbats以外のRomanフォントで印刷しようとする、PrintToPDFはSymbolフォントにある同等  
の文字と置き換えて印刷します。

代用してしまうと意味のなくなるフォントもあります。Zapf Dingbatsを除くDingbatsフォント  
やSymbolを除くsymbolフォントがそうです。こういったフォントに関しては、テキストとしてで  
はなく（288dpiの）ビットマップとして扱うようにPrintToPDFに指示することもできます。この  
設定を行うには、用紙設定でフォント設定ボタンをクリックして次のようなダイアログを表示し  
ます。



フォント・メニューのポップアップからフォントを選択すると、その名称の隣にチェック・マークが付きます。フォントをこの特殊処理の対象から外すには、再度選択を行って、チェック・マークを外します。

ビットマップでの代用機能は、テキスト・フォントにではなく、特殊なシンボルにだけ使用する用にしてください。テキスト・フォントに対してビットマップを使用すると、PDFを利用する際に、コピーしたりテキストを検索することが難しくなってしまいます。また、テキストをビットマップ化してPDFファイルを作るには多くのRAMが必要になりますし、PDFファイルが必要とするディスク容量も大きくなってしまいます。

## 図の拡大ときれいな印刷

PDF内のイメージを拡大して印刷したときにきれいに見せるには、2つの方法のどちらかを選んで下さい。第一の方法は、ベクター・グラフィック（「ドロー」の図として知られています）を使用することです。どんな解像度でもはっきりと印刷できます。もう一つの方法として、ビットマップ・グラフィック（pixmapや「ペイント」の図として知られています）を使用する場合には、大きなイメージを作成しておいて縮小する方法があります。



ベクター



ビットマップ



スケールド・ビットマップ

上の例の最初のものは、ベクター・グラフィックです。Acrobat Readerで拡大していても比較的はっきりしていることが分かっていただけだと思います。次のものは、ビットマップ・ピクチャーです。100%以上に拡大するとジャギーになってゆきます。三番目の例は、他の例の2倍の大きさのビットマップを作成し、AppleWorksのワープロに貼り付けて50%に縮小して作成したものです。この図は200%までは拡大しても、かなりきれいに見えます。この縮小方法が他のワープロソフトでも使用できるかどうかはわかりませんが、AppleWorksやWordPerfect, Microsoft Wordでは上手くいっているようです。

ページ設定のダイアログで、ビットマップ・イメージを24ビット・カラーで保存するのか12ビット・カラーで保存するのかをプリファレンスに設定できます。24ビットのイメージを作成したり表示するにはたくさんのメモリーが必要になりますが、スムーズな陰影が表現できます。

## ライブURLの埋め込み

PrintToPDFはテキストの中にあるURLを見つけ出して、リンクに変換します。リンクをクリックするとAcrobat Readerは適当なヘルパー・アプリケーション、ウェブ・ブラウザ等で、開こうとします。この仕組みが上手く機能するには、

- ・印刷時にInternet Config 2.0以降がインストールされていて、PrintToPDFがURLを認識できるように なっていること。この無料の拡張機能は最新のMacOSやインターネット関連のソフトウェアに付属して います。

- ・URLは一般的なスキームでなければなりません。 : http, https, ftp, mailto, news, nntp, file.

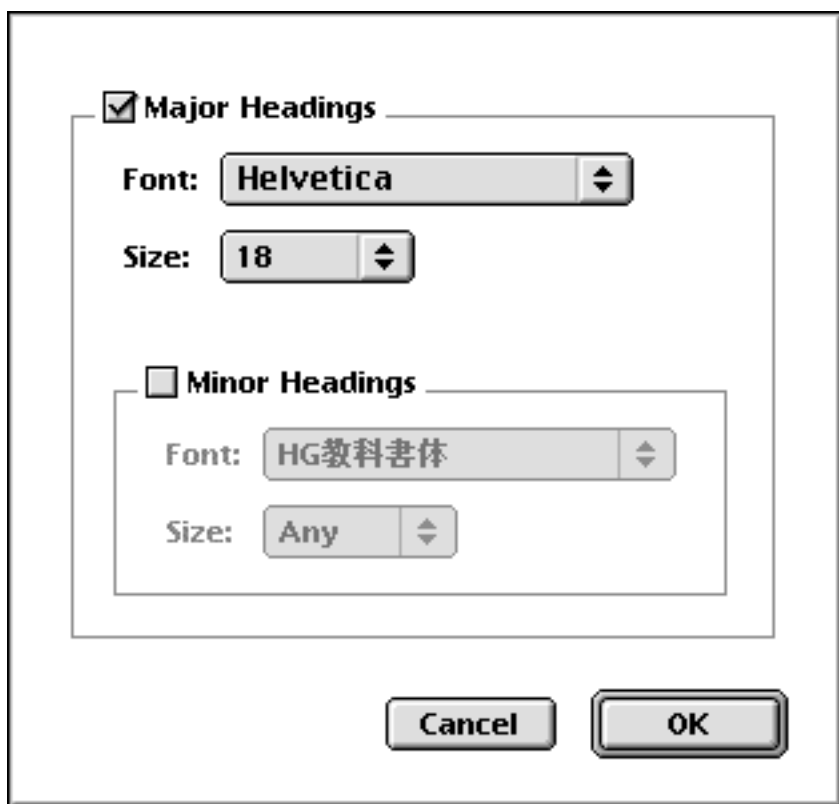
- ・URLは複数行に渡ってはいけません。

- ・URLはあるスタイルで統一されていなければいけません。つまり、フォントやサイズ、スタイル、色が URLの文字列内で変わってはいけません。

## ブックマーク

PrintToPDFは、セクションやサブセクションのヘッダをPDFブックマークに変換することができます。このためには、セクションのヘッダ部分に使用するフォントやサイズを統一しておく必要があります。サブセクション・ヘッダに関しても同様です。例えば、このドキュメントでは、セクションのヘッダ部分はHelvetica 18に設定されており、その他の部分ではHelvetica 18は使用していません。

用紙設定のダイアログに、ブックマーク設定のボタンがあります。このボタンをクリックすると以下のようなダイアログが表示されます。



PDFファイル中にブックマークを入れる必要がなければ、Major Headingsのチェックを外しましょう。2レベルのブックマークが必要であれば、両方をチェックしておきましょう。

## メモリの不足

ページ数の多いドキュメントやたくさんのイメージが入ったドキュメントを処理しようとする、PrintToPDFがメモリ不足になる可能性があります。（あるフォントをビットマップで置き換える機能を利用すると、イメージの数が増えることとなります。）PrintToPDFは、その時点でアプリケーションもシステムも使用していないメモリを利用します。PrintToPDFがどのくらいの大さのメモリを利用できるかを知るには、「このコンピュータについて」ウインドウに表示される「最大未使用ブロック」を見ます。

メモリ不足を解決する方法はいくつかありますが、

- ・印刷しようとしているアプリケーション以外のアプリケーションを終了します。
- ・Image Depthオプションを12に設定します。
- ・メモリ・コントロールパネルを開いて、仮想メモリーを広げ、再起動します。
- ・印刷しようとしているアプリケーションのメモリ割当を大きくしているのであれば、推薦値へもどしてみます。

## 制限

- ・ベクター・グラフィックはパターンやリージョンを再生しません。
- ・EPS(Encapsulated PostScript)フォームの中の図や、その他PostScriptのコードによるものは、忠実に描写されます。
- ・フォントを埋め込むことはできません。使用可能なフォントについての前章をご覧ください。特に、Roman以外の文字を使用する言語は、中国語、日本語、韓国語を除いて、使用できません。
- ・中国語、日本語、韓国語でブックマークを作成するには、テキスト・エンコーディング・コンバータ機能拡張があるPowerMacを使用しなくてはなりません。
- ・皮肉なことに、PrintToPDFをAcrobat Readerから使おうとしてもうまく動作しません。Acrobat ReaderがMacintoshの標準的な方法でテキストを描写していないためです。
- ・PrintToPDFで作成したPDFを見るためには、Acrobat Reader 3.0以降が必要です。
- ・中国語、日本語、韓国語のテキストを含んだPDFを見るためには、Acrobat Readerにアジアン・フォント・パックをインストールする必要があります。

## シェアウェア料金

PrintToPDFは2週間程度お試しいただけます。その後、PrintToPDFを登録しないのであれば、使用するのをやめて下さい。登録料金は一人につき20ドルです。サイトライセンスも用意しています。登録していただければ、

- ・用紙設定や印刷ダイアログに表示される"Unregistered"を取り除く方法をご連絡します。
- ・連絡頂いたメールアドレスに、アップデートのご連絡をいたします。もちろん、メールアドレスを売ったり、他の人に教えることはありません。
- ・気持ち良くご使用いただけます。
- ・私も気持ち良くなります。

私の作ったシェアウェアに対する支払は、Kagiサービスで取り扱っています。<<http://order.kagi.com/?JW>>でもお支払いいただけますし、Register-JWプログラムを使用して登録用のフォームを作っていたら、メール、またはファックスか郵便でお送りいただいても結構です。

## 配付について

PrintToPDFを販売したり販売目的に使用することはできません。また、作者の書面による許可がない限り、他の商用アプリケーションに含めることもできません。作者からの許可連絡が遅いからといって、勝手に同意したものとみなすことも許されません。パブリックドメイン、フリーウェア、シェアウェア

等を利益目的で配付している企業は、PrintToPDFを絶対に配付してはなりません。この制限は、電子掲示板、アメリカ・オンラインやコンプ・サーブ、ニフティ・サーブのような商用のオンラインサービスには適用されません。また、公開の会合を定期的に関いている商用目的でないMacintoshユーザ・グループも適用外です。いずれにせよ、PrintToPDFを配付する際は、私がりリースした状態のまま、ドキュメントもソフトウェアも欠けることなく配付しなければなりません。



リースした状態のまま、ドキュメントもソフトウェアも欠けることなく配付しなければなりません。

## 作者への連絡

インターネット：<mailto:jwwalker@kagi.com>または<mailto:pdf@jwwalker.com>

私のウェブ・サイトものぞいてみて下さい。<http://www.jwwalker.com/>最新バージョンは、一番最初にここに置いています。

郵便（Kagiフォームを送らないで下さい。）  
3689 Martha Street  
San Diego, CA 92117 USA

## どうなってるの？

Adobeの弁護士からなにか言ってきているか、と尋ねてくる人もいます。答えは、ノーです。今後もそんなことはないでしょう。AdobeはPDFの定義を公開しています。<http://partners.adobe.com/asn/developer/PFDS/TN/PDFSPEC.PDF> PDFファイルを作成したり、取り扱ったりすることのできるプログラムは、Adobe以外からもたくさん公開されています。

## 保証

このプログラムは、このドキュメントに書いてあるように動作するはずですが、もし動作しない場合は、単に使用することをやめて下さい。もし支払を済ませた後で、一ヶ月以内であれば、ここに書いてあるように動作しないとか、バグやコンフリクトが発生して使用することができない場合には、ご連絡いただければ、返金してライセンスを取り消します。

私のマシンで再現できるバグであれば修正を行うつもりですが、互換性チェックのためだけに他の人の作ったソフトウェアを買おうとは思っていません。

## 謝辞

PrintToPDFはFastIO System<http://www.fastio.com>のClibPDFを使用しています。zlib圧縮ライブラリに関しては、Jean-loup GaillyとMark Adlerに感謝しています。Leonard Rosenthalからは、貴重なヒントをいただきました。

